

ソフトバレーボール大会・講習会等開催 審判ガイドライン

だれでも どこでも そして、いつまでもソフトバレーボール
以前のように楽しめるように、みんなで感染予防に努めていきましょう。

令和3年5月8日

日本ソフトバレーボール連盟 審判規則委員会

目次

- 1 大会等での感染対策のガイドラインについて
- 2 コロナ対応の基本的な考え方
- 3 審判規則委員会としてのコロナ対応

1 大会等での感染対策のガイドラインについて

JVAのホームページ「バレーボール競技に関わる大会等の運営ガイドライン」参照

URL <https://www.jva.or.jp/index.php/topics/20200305-1>

(1) 活動実施の基本的な感染対策の対応について

①内閣官房新型コロナウイルス感染症対策ホームページ参照

URL <https://corona.go.jp/>

②日本スポーツ協会 新型コロナウイルス感染症対策関連特集サイト参照

URL <https://www.japan-sports.or.jp/tabid1282.html>

(2) 大会等の開催における基本的な実施判断基準について

①特措法に基づく都道府県の状態に応じた判断が重要

②徹底した感染防止策と基本的な感染防止策実施の重要性

1 大会等開催時のガイドラインについて

(3) JVA感染防止対策チェックリスト(主催者・参加者向け)

https://www.jva.or.jp/topics/uploads/2684/JVAchecklist_20210305.pdf

大会参加者向け健康チェックリスト 最終頁リスト参照

(4) 大会開催については、JVAの「バレーボール競技に関わる
大会等の運営ガイドライン」に基づいて開催される

2 コロナ対応の基本的な考え方

1 審判を行う者の大会参加について

(1) これまで同様、相互審判により行う

(2) 審判を行う者は選手としても**安全に留意する**

(3) 大会への参加については、以下の手順で行う

①参加者は、**職場・家族等関係する方々の状況を確認の上、参加申込みを行う。**

②**日常から健康チェックシート(自己管理用)を活用し、自身の体調管理を行う。**

※主催者が「健康チェックシート」の提出を求めた場合、応じることができるよう準備

(4) **主催者が示した感染予防対策を遵守・徹底する**

2 コロナ対応の基本的な考え方

2 講習会開催等について(主催する審判委員会・都道府県連盟等)

- (1) 受講者の**安全が判断の最優先**に講習会を計画する
- (2) 講習会の実施に際しては、開催地連盟等と連携し**感染予防対策について受講者に明確に提示すること**

※別紙「講習会開催におけるチェックリスト例」参照

- (3) 講習会への受講者の集約についても、**大会同様の手順**で行う

※不参加における不利益が生じないように配慮する

- (4) 参加希望状況により最終的に開催可否を判断する

※開催地(都道府県及びブロック等)の実情に合わせて独自講習会の開催も同様とする

- (5) **主催者が示した感染予防対策を遵守・徹底する**

3 審判規則委員会としてのコロナ対応

【今までの基本的な考え方をもとにした主な留意事項の例】

①大会・講習会等参加時の留意事項

- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる
 - ・体調が良くない場合(発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - ・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- こまめな手洗い・うがい、アルコール等による手指消毒を行う。
- 他の参加者との距離(できるだけ2m以上)を確保する。

3 審判規則委員会としてのコロナ対応

①大会・講習会等参加時の留意事項

□ マスクを持参する

- ・移動時等はマスクを着用する。
- ・会場では必ずマスクを着用し、マスクを外す時間を極力少なくする。
- ・選手の試合中のマスク着用も妨げない。
- ・マスクを取る場合は、特に他の参加者等との距離(できるだけ2m以上)を確保し、大きな声や対面での会話等を行わない。
- ・ミーティングや待機時等は距離を保ち、ミーティングは短時間で行う。

□ 手洗いや手指の消毒をする

- ・試合終了、カリキュラムの間には手洗いや手指の消毒を励行する。

□ タオル等の個人使用物の混同を避ける

- ・各人が管理し、移動等の際に不用意に混同しない。

3 審判規則委員会としてのコロナ対応

①大会・講習会等参加時の留意事項

- 事業に支障をきたさない範囲での自主的な換気を行う。
- 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、主催者及び審判規則委員会に速やかに報告を行う。
- 厚労省の新型コロナウイルス接触確認アプリ(cococa)を利用する。

②ルール等の取り扱い

- プロトコールでの試合開始前と終了後の挨拶はエンドライン上のみとし、ネットを挟んでの握手は行わない。
- セット間及び第3セット中のコートチェンジは行わない。

※記録員は公式記録用紙に記入時注意

3 審判規則委員会としてのコロナ対応

③競技中の留意事項

【主副審】

- 試合前後は原則マスクを着用し監督・選手との握手は行わない。またトスは、選手との距離を保ち、短時間ですませる。
- プロコールでの試合開始前と終了後の挨拶はエンドライン上のみとし、ネットを挟んでの握手は行わない。
- セット間及び第3セット中のコートチェンジは行わない。
- 点示員、他の役員及びチームメンバーとも十分距離を保ち、会話をする場合は、マスクを着用し大きな声や対面にならないように配慮する。
- 日本ソフトバレーボール連盟審判規則委員会では、飛沫による感染予防の観点から、電子ホイッスルの使用を推奨する。
なお、電子ホイッスルは試合毎にアルコール等で消毒を行う。

3 審判規則委員会としてのコロナ対応

③競技中の留意事項

【主副審】

- 笛を使用する場合は、フェイスカバーやホイッスルカバーの着用、不織布マスク着用での吹笛を徹底する。
- ボールに触れた場合、消毒等を行わず目・鼻・口にできるだけ触れないよう注意する。

【記録員】

- 会話をすることがあるので、必ずマスクを着用する。
大きな声や対面での会話は控える。
- 共用物品(ボールペン等)の使用はできるだけ避ける。サイン採取時は、専用ペンや消毒用アルコールを準備する等の工夫をする。

3 審判規則委員会としてのコロナ対応

③競技中の留意事項

【線審】

- 会話をすることはないが、必ずマスクを着用する。
※ 体を動かすことがあるため、熱中症には注意
- 飛来した試合球には、できる限り触れない。ボールに触れた場合、消毒等を行わず目・鼻・口にできるだけ触れないよう注意する。
- フラッグは、試合前後に消毒を行う。

【点示員】

- 会話をすることがあるので、必ずマスクを着用する。
大きな声や対面での会話は控える。
- 飛来した試合球には、できる限り触れない。ボールに触れた場合、消毒等を行わず目・鼻・口にできるだけ触れないよう注意する。

3 審判規則委員会としてのコロナ対応

③競技中の留意事項 【その他】

- プラスチック手袋やラテックス手袋を着用し、試合毎に交換することも推奨する。
- 審判台や記録席テーブル、電子ホイッスル、ラインズマンフラッグ、筆記用具など共有されるものは、試合毎に消毒を行う。
- ベンチや記録席などの試合会場のレイアウトは、密な環境を避けるために、主催者および競技委員会と確認し変更をしてもよい。
- タオルや水ボトル等は共用をしない。
- 会場の換気のため、主催者および競技委員会と確認しギャラリー等の窓やアリーナ出入口ドアを常時開放する等の対策を徹底する。
- 試合球は主催者および競技委員会と確認し、試合中も随時消毒を行う。また、予備の試合球を準備し試合毎の消毒も徹底する。

3 審判規則委員会としてのコロナ対応

(チェックシート・リスト)

大会・講習会参加時に先述の主な留意事項を踏まえ、以下の様式例を参考に、地域の実用に応じて修正・変更を加え作成し活用することで、参加者の安全を優先に考え、審判活動を行う。

1 主催者・参加者向け感染防止チェックリスト

2 健康チェックシート(提出用)

3 指導者・審判講習会開催における 新型コロナウイルス対応版チェックリスト

審判関係大会参加におけるチェックリスト例 エクセル青色シート

講習会開催におけるチェックリスト例

エクセル緑色シート